【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【公表番号】特表2008-526816(P2008-526816A)
【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)
【年通号数】公開・登録公報2008-029
【出願番号】特願2007-549909(P2007-549909)
【国際特許分類】
　Ａ６１Ｋ　38/00　　(2006.01)
　Ａ６１Ｐ　 9/10　　(2006.01)
　Ａ６１Ｋ　45/00　　(2006.01)
　Ａ６１Ｐ　 9/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｋ　37/02
　Ａ６１Ｐ　 9/10
　Ａ６１Ｋ　45/00
　Ａ６１Ｐ　 9/00
　Ａ６１Ｐ　 9/10　　１０３

【手続補正書】
【提出日】平成20年12月11日(2008.12.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　式（Ｉ）：
【化１】

-MeBmt-αAbu-MeAla-EtVal-Val-MeLeu-Ala-(D)Ala-MeLeu-MeLeu-MeVal-
1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11

式（I）

の構造を有する環状ウンデカペプチドを含む、心筋虚血状態の間に投与するための薬剤。
【請求項２】
　前記状態が、心機能異常に関して現れる、請求項１に記載の薬剤。
【請求項３】
　前記心機能異常が、心臓細胞病変の結果である、請求項２に記載の薬剤。
【請求項４】
　前記心筋虚血状態が、以下の疾患：急性心筋梗塞、狭心症、不安定狭心症、血栓塞栓症を有するアテローム疾患、血管けいれん、小及び中動脈の動脈瘤、大血管の動脈瘤、心臓病に起因する動脈性低血圧、あるいは敗血症性ショックを伴う若しくは伴わない重度の敗血症又はアレルギー性反応の如き深刻な感染を含む全身性疾患に起因する動脈性低血圧、

並びに１又は複数の薬剤、医薬品、毒薬又は毒性産物の効果に起因する低血圧からなる群のいずれかに直面する、請求項１～３のいずれか１項に記載の薬剤。
【請求項５】
血液循環が、冠状血管形成により機械的に得られる再かん流、並びに／あるいは、フィブリン溶解治療ステップに続いて、及び／又は薬物に基づく蘇生ステップに続いて医学的に得られる再かん流により回復し、かつ前記再かん流の前に投与される、前記請求項１～４のいずれか１項に記載の薬剤。
【請求項６】
投与開始が、再かん流の前３０分間から動脈が再開する瞬間までの期間、及び／又は血流が回復したときからの期間に拡張される、請求項５に記載の薬剤。
【請求項７】
前記投与開始が、最も早くて敗血症が始まるときからの期間、最も遅くてその後７２時間からの期間に行われる、請求項６に記載の薬剤。
【請求項８】
前記式（Ｉ）の環状ウンデカペプチドが０．１ｍｇ／ｋｇ～３０ｍｇ／ｋｇまでの用量で投与されるように、前記式（Ｉ）の環状ウンデカペプチドを含む薬剤が投与される、請求項１～７のいずれか１項に記載の薬剤。
【請求項９】
抗狭心症治療、及び／又は抗敗血症治療において活性を示す少なくとも１つの第２化合物と併用投与される又は別々に投与される、請求項１～８のいずれか１項に記載の薬剤。
【請求項１０】
静脈内注入、動脈内注入又は冠動脈内注入により投与される、請求項１～９のいずれか１項に記載の薬剤。